



新潟市中学校体育大会を振り返って

部活動主任 鷲尾 里梨

ソフトテニス競技を皮切りに新潟市中学校体育大会が行われました。毎年この時期は穏やかな春の気候から暑い夏にぐっと近づき気温が急に高くなるために、活動するのが大変な時期です。日々の練習でも暑熱対策を取り、暑熱順化に力を入れながら、大会に向けてどの部も一生懸命に練習に取り組んできました。今年度は「西川中学校」として出場する最後の市内大会でした。引退のかかる3年生だけでなく、1、2年生にとっても大切な大会になったと思います。大会当日も、気温が高く厳しい環境でしたが、どの部も精一杯戦い、見事に県大会の出場を決めた部もありました。西川中の部活動所属ではなく、地域クラブで参加した生徒も多く、それぞれクラブで目標に向かって全力を尽くしてプレーしました。県大会は7月12日、13日に、吹奏楽部は、7月20日に下越地区吹奏楽コンクールが開催されます。西川中の代表として最後まで全力を尽くして頑張ってください。応援しています。

保護者の皆様、地域の皆様には、これまで部活動に対して多大なるご支援とご協力をいただき、感謝申し上げます。これからは部活動が地域に展開され、活動の場所や形態が変わっていきますが、今後とも子どもたちの活動を温かく見守っていただけると嬉しいです。



新潟市中学校体育大会激励会 生徒会長激励の言葉より

いよいよ市内大会の時期が迫ってきました。みなさんはこれまで一生懸命に練習に取り組んできたことでしょう。時には、悔しいことや苦しいことがあります、仲間が悲しんでいる場面を見かけることもありました。**それでも元気よく練習に励むみなさんの姿を見たり、声を聞いたりするたびに私は勇気をもらいました。**この大会が、西川中として出場できる最後の大会になるかもしれません。今までの努力の成果を十分に発揮して勝利をつかむことができるように在校生一同心から願っています。正々堂々全力を出し切り悔いのない戦いをしてきてください。

勝敗に関係なく、大会を観戦した保護者の方・先生方も、皆さんが全力でプレーする姿から、勇気や感動をもらいました。部活動に限らず、今後も色々な場面で、周りの人たちに勇気を与えられる存在になれることを期待しています。

新潟市中学校体育大会結果

個人戦は、入賞者・県大会出場者のみの掲載とさせていただきます

○サッカー

トーナメント

1 回戦 対 木 戸 1 - 0 勝
2 回戦 対 坂井輪 1 - 4 負

○ソフトテニス

〈団体戦〉 トーナメント

1 回戦 対 東新潟 3 - 0 勝
2 回戦 対 白 南 3 - 0 勝
準々決勝 対 小 針 1 - 2 負
県決定戦 対 関 屋 2 - 1 勝
結果 第 5 位県大会出場

○バレーボール

トーナメント

1 回戦 対 大江山 2 - 0 勝
2 回戦 対 五十嵐 2 - 0 勝
3 回戦 対 Nexus 新潟 0 - 2 負

○陸上

自己新記録が多数でしたが、惜しくも
県大会出場はなりませんでした。

○女子バスケットボール

トーナメント

1 回戦 対 黒 埼 3 4 - 5 2

○男子卓球〈団体戦〉

予選リーグ 対 早 通 3 - 1 勝
対 新津二 2 - 3 負
リーグ 2 位で決勝 T へ

決勝トーナメント

対 東石山 1 - 3 負

○女子卓球

〈団体戦〉

予選リーグ 対 黒 埼 0 - 3 負
対 潟 東 0 - 3 負
対 新津一 0 - 3 負
対 巻 西 0 - 3 負
リーグ 5 位予選敗退

○水泳

中村 理人 **県大会出場**

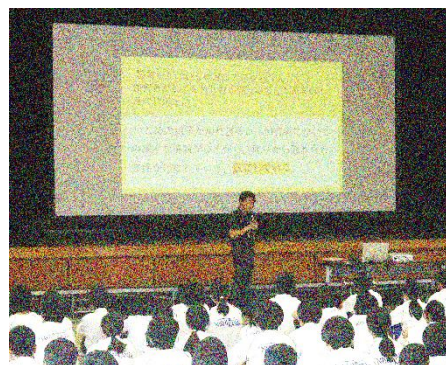
男子 200m 個人メドレー 優勝 記録 2 分 17 秒 69
男子 200m 自由形 3 位 記録 2 分 06 秒 43

いじめは絶対にしない 見逃さない

6 月 3 0 日（月）にいじめ防止集会を行いました。教育委員会が作成した「いじめ未然防止にむけた教育プログラム」により、全校でいじめについて考えました。西川中学校で育む資質・能力のひとつ「にこやか」＝「笑顔で、さわやかな学校生活」の土台となるのが、いじめのない安心・安全な学校です。暑い中でも、いつも以上に真剣な表情で、集中して話を聴き、自分のこととして考えていました。

〈生徒の感想抜粋〉

- ・自分が良ければいいではなく、みんなにとって良く、みんなが良い気持ちにならないといけなかったと思います。
- ・自分はそういうつもりはなくても、相手が嫌だと思えることがあるので、相手の立場を考えた言動をすることが大切だと思いました。
- ・相手が少しでも嫌な思いをしそうな行動や発言をしないようにしたいです。それだけでなく、温かい言葉をかけたり、ほめたり、助けたりしたいと思いました。



どんなことがいじめになるかを考えてみましょう！



警察がかかわる状況までにならなくとも、
加害者が**とても苦しい状況になることが多い！**
その状況とは

いじめの様子が知れ渡ると、加害者についての様々な情報がひろがり、周りから恐れられ、友達がはなれていき、孤立していく。

いじめ防止に向けた傍観者の役割

村上 千代氏「いじめを発生させない環境づくり」より

◎止める人(仲裁者)になれなかったら

→「大人などに伝え、相談する人(通報者)」
→「被害者によりそう人(シェルター)」
つらいね！ 私はあなたの味方です！